

作成日: 2023年10月2日

解答用紙

野口さん

受験者 氏名	ヤマちゃん
-----------	-------

作成時間: 50分

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

相談者は、育休復帰しているが今の業務はつまらないと感じている。上司から当初聞いた話と違、理不尽と感じ、引継ぎした後輩が楽ほうに働く姿を見て複雑であること。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

良)主に感情に焦点を当てて、引継ぎした後輩を見た複雑な気持ちを話し直した点。  
悪)重複して質問をすることあり、深掘りが十分にできず話の展開が遅れてしまった点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 次の2点を相談者の問題点と考える。(1)今の業務内容、役割に関する仕事理解不足である点。(2)育休復帰後における上司とのコミュニケーション不足がある点。

② その根拠 次の相談者の発言などが根拠と考える。(1)「雑用っぽい」「つまらない」「誰にでもできる」「私じゃなくてもいい」。(2)「馬鹿な話」「約束が壊す」という感情もあり「忙しい方」「ケチな方」からコミュニケーションを取ろうとする様子が見受けられる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者が抱える複雑な感情に焦点を当て、引継ぎした後輩への思いや仕事に関する価値観を傾聴することで信頼関係の構築を行う。これにより(1)今の業務内容や役割をどのように考えているのか質問し内容を促すことで仕事理解を整理することを目指す。(2)相談者の同意を得ることができれば、改めて育休前の約束について確認することを行い、今後の業務内容についても確認する機会を設けることを提案する。最終的に相談者の抱える感情が解消に向かい、最良の働き方ができるように支援を行う。

注: 解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。